



令和元年度「ピースキャンドルナイト及び はだの平和の日のつどい」開催結果



令和元年 8月17日（土）午後4時～7時45分

①はだの平和の日のつどい：文化会館ホワイエ

②ピースキャンドルナイト：文化会館市民広場

主催：秦野市／主管：ピースキャンドルナイト実行委員会

～平和の灯を未来にともす～

秦野市では、市民一人ひとりが平和や命の大切さを改めて考え語り合う機会として、平成20年に、毎年8月15日を「秦野市平和の日」と制定しました。この趣旨を広めるため、平和の日を中心に毎年様々な「平和の日事業」を行っています。

その一つである、市民手作りのキャンドルに平和の灯をともし「ピースキャンドルナイト」は、文化会館市民広場を会場に、ピースキャンドルナイト実行委員会やイベントサポーターなど多くのボランティアの協力のもと、開催されました。

キャンドルの種火には被爆地・広島から持ち帰った「平和の灯」を使用し、平和な未来への希望を込めて約8,000個のキャンドルに灯をともしました。

また、今年は、文化会館ホワイエを会場に、第25回目となった「親子ひろしま訪問団」が、活動報告等を行う「はだの平和の日のつどい」が開催されました。

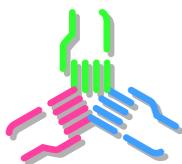
今年も「はだの平和の日のつどい」では、公募出演者によるコンサートが行われ、それぞれの平和への思いを胸に、美しい演奏が披露されました。

集まったキャンドルは、約8,000個



子供からお年寄りまで多くの皆さんが、ペットボトルを再利用して作るキャンドルの作製に協力してくれました。当日会場に持参された分も含め、計約8,000個の手作りキャンドルが集まりました。

運営を支えたのは、約100名のイベントサポーター



中学生を中心に、幅広い年齢層の人がボランティアとして参加し、キャンドルの設置から片付けまで、暑さをものともせずイベントを支えました。

来場者は、約1,800名



当日は、天候にも恵まれ、親子連れなど約1,800名が来場し、キャンドルの点火や片付けなど多くの方がイベントに参加・協力しました。そして、揺らめくキャンドルの光の中で、平和に思いをはせました。

回収したペットボトルキャップは、ワクチン購入費用に活用



キャンドルの作製と併せてお願いしたペットボトルキャップの募集では、380kg（約163,400個分）のキャップが集まりました。回収したキャップは、リサイクル業者を通じて発展途上国の子供たちのワクチン購入費用として活用されます。



「平和の日業」カメラスケッチ

13:20

イベントサポーター集合・キャンドル設置

会場となる文化会館に、イベントサポーターが集合。キャンドル設置についての説明を受けたあと、インターンシップ実習生のもと、設置作業に取り掛かりました。



ガイダンスを聞くサポーター



レイアウト図に沿ってキャンドルを設置する



「平和」をイメージして、様々な形に並べられたキャンドル

～キャンドル作製に協力いただいた皆さん～

- ◆保育園 南秦野・ふくろうのもり・ひまわり・第一・若木・西湘秦野・やまゆり・なでしこ・こひつじ・いまいずみ・みどり・にこにこ・第2にこにこ・なでしこ第2・山辺・虹と風・ベルフラワー
- ◆こども園 すえひろ・つるまき・ひろはた・しぶさわ・みどり・サンキッズ南が丘
- ◆幼稚園 本町・南・東・北・大根・西・上・ほりかわ・つるまき・西秦野
- ◆小学校 本町・南・東・北・大根・西・上・広畑・渋沢・末広・南が丘・堀川・鶴巻
- ◆中学校 本町・南・東・北・西・南が丘・渋沢・鶴巻
- ◆婦人会 本町・東・西・南・北・大根・上
- ◆その他 介護老人保健施設 めぐみの里
会場や公民館に持参した多くの市民の皆さん

【第1部】 16:15

【第2部】 17:30

【第3部】 18:30

はだの平和の日のつどい

文化会館ホワイエを会場に、8月6日「広島原爆の日」に合わせ被爆地広島を訪問した「親子ひろしま訪問団」が、訪問の活動報告を行いました。

なお、今年度は、5組の公募出演者によるコンサートと合わせ、3部制で開催しました。



森田委員長による挨拶



第1部(コンサート)の様子



親子ひろしま訪問団 5組 10名が活動報告



団員自身の言葉で平和への思いを伝えた



最後に全員で記念撮影



第3部(コンサート)の様子

18:00

ピースキャンドル点灯式

文化会館市民広場中央には、今年も Bamboo Project Japan 制作の竹製オブジェが置かれました。今年度の「親子ひろしま訪問団」の団長親子が、オブジェの近くに設置されたメインキャンドルに「平和の灯」を点火しました。

そして、丸山委員の司会のもとピースキャンドルナイトが開会し、高橋昌和秦野市長の挨拶の後、高橋市長と森田委員長がメインキャンドルから「平和の灯」を採火し、周囲に設置されたサブキャンドルに火をともしました。

その後、サブキャンドルの火を使って、イベントサポーターや来場者が協力して、会場内に並べられた約8,000個のピースキャンドルに火をともしました。



市民広場に並べられるキャンドル



Bamboo Project Japan 制作の竹製オブジェ



「親子ひろしま訪問団」団長親子がメインキャンドルに点火



挨拶する高橋市長



高橋市長、森田委員長がメインキャンドルから採火した火をサブキャンドルに点火



イベントサポーターや来場者も点火に参加

◆平和の灯モニュメント

秦野市では、平成21年8月11日に平和の象徴として、市役所本庁舎の正面玄関横に「平和の灯モニュメント」を設置しました。モニュメントがともし続けている火は、被爆地・広島を訪れた「親子ひろしま訪問団」が広島平和記念公園の平和の灯を採火し、持ち帰ったものです。

この火は、「ピースキャンドルナイト」をはじめ、様々な平和推進事業で種火として活用されています。



19:45 ピースキャンドルナイト閉会

はだの平和の日のつどいが閉会し、コンサートの美しい調べの余韻に浸る中、閉会の時間が近づきました。サポーター、来場者が協力してキャンドルの片付けを行い、第12回ピースキャンドルナイトは閉会しました。



photo gallery



山形県の絵ろうそくも会場を演出



市民広場いっぱい、様々な形に並べられたピースキャンドル

◆問い合わせ◆

ピースキャンドルナイト実行委員会事務局（文化スポーツ部文化振興課内）

電話 0463-86-6309 ファクス 0463-86-6563

メールアドレス bunsin@city.hadano.kanagawa.jp